

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			リトミックやダンスなどができるスペースの確保をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			5名から6名体制で行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			6	けがをしない配慮はしているが、入口や水回りに段差がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			支援ミーティングをしたり、振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			出来る限り改善するよう心掛け、保護者とコミュニケーションを図るようにする。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		社内外問わず、研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者との面談で本人のニーズや保護者のニーズの聞き取りを行って職員の話し合いの元作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			遠城寺式や独自の評価表を使用してグラフにすることで見やすくしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			児童発達支援管理責任者を中心に行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			音楽、療育内容は月間のプログラムを作成して季節や行事を感じられるようにして、固定化しないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	5		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			音楽プログラムが中心なので個別活動がなかなか出来ていないが、こどもの個々の状態に合わせた対応を心がけている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			事前ミーティングを行い、こどもの支援内容、療育、音楽の内容、職員配置など細かく打ち合わせをして支援に取り組んでいる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			必ず終礼時に振り返りを行っている。参加していない職員には後日連絡を共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			支援当日までに計画を立て、また記録を正しく取れるように意識している。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			3ヶ月に一度は行っている。必要に応じて保護者からの聞き取りを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		6		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6		学校と連携を取って行っている。送迎時にも情報共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		6	医療的ケアが必要な子どもを受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	必要に応じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6	対象者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		モニタリングで話をしたり、お互いに情報共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	今のところ行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6	参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6		話をする中でアドバイスを行っているがペアレントトレーニングはしていない。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		出来る限り話をして対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情受付窓口担当を設置しており、契約時にも説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			月間プログラムの配布、Facebookの更新。また発表会のお手紙等をその都度配布している。
非常時等の対応	35	個人情報に十分注意しているか	6			鍵付き書庫に保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			分かりやすくて確にと意識している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	行っていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			6	マニュアルはあり、注意喚起の書面は配布しているが、想定訓練はしていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			火災、防犯、災害での訓練を年に数回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			社内外問わず、研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			6	契約時に身体拘束の話はしている。現在対象児童がいないため拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			アレルギー児がわかるようにお皿の色、形を変えている。基本アレルギーの子も食べられるものになっている。またエピペンの講習を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			日々記録を残し、今後の対策を考えて対応している。またその都度振り返ることで意識づくりをしている。